

第3回丹波市総合計画審議会議事録（摘録）

開催日時	令和元年7月23日（火）午後7時00分開会～午後9時15分閉会
開催場所	氷上住民センター大会議室
出席者	[委員] 深田俊郎委員、古倉一郎委員、大木玲子委員、足立昌彦委員、杉本達也委員、大野亮祐委員（副会長）、足立はるみ委員、塩谷泰久委員、秋山登久男委員、中川幾郎委員（会長）、小村香織委員 [事務局] 副市長、企画総務部政策担当部長、総合政策課長、総合政策課政策係長、係員
欠席者	長井克己委員、丹生裕子委員、谷水ゆかり委員、竹岡正行委員
傍聴者	なし
記者	なし
次第・資料	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 市民アンケート調査結果報告書について 【報告資料1】第2次丹波市総合計画（後期基本計画）策定に係る市民アンケート調査結果報告書 4 協議事項 (1) 後期基本計画の施策体系について 【協議資料1】まちづくりの目標・施策目標新旧比較表 (2) 後期基本計画の施策体系に基づくまちづくりの目標と各施策の取組について 【協議資料2】まちづくりの目標と各施策の取組（案） 【協議資料3】関連分野との整合性整理表 (3) 序論の構成及び概要について 【協議資料4】はじめに（案） 【参考資料1】丹波市の新しい都市構造のあり方「まちづくりビジョン」原案 【参考資料2】丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略（第3回改訂） 5 その他 (1) 新市建設計画の変更にかかる諮問について (2) 第4回審議会日程及び今後の予定について [第4回審議会] 日時 令和元年8月27日（火） 19:00～ 場所 氷上住民センター 大会議室 [今後の予定] 令和元年 9月 市議会総務文教常任委員会に後期基本計画案を報告 令和元年 10月 後期基本計画案についてパブリックコメントを募集 令和元年 11月 第5回審議会及び答申 令和元年 12月 市議会に議案を提案 6 閉会

会議摘録	
発言者	発言の要旨
事務局	1 開会 皆さん、こんばんは。第2回審議会は3月に開催させていただきましたので、今回は令和になりまして初めての審議会になりました。審議も大詰めになりましたので、審議の程どうぞよろしくお願いします。本日は、長井委員、丹生委員、谷水委員、竹岡委員が欠席されておりますので報告いたします。それでは、はじめに副市長のほうからご挨拶を申し上げます。
副市長	2 あいさつ（鬼頭副市長） 皆さん、改めましてこんばんは。大変お忙しい中、第3回丹波市総合計画審議会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。昨年11月に1回目の丹波市総合計画審議会を開催いたしまして、この総合計画は最上位の計画であるという位置づけをお示ししたところであります。また、2回目の審議会を今年3月に開催し、その際は市民アンケートの速報を示し、市への定住意向や各施策の満足度・不満足度について、審議いただいたところであります。本日はいよいよ第3回の審議会でありまして、本日は中身がつまってきたており、後期計画の施策体系に基づいて、各施策の目標等について示しておりますので、ご意見いただければと思っております。市内部で十分に協議が出来ておればよかったのですが、なかなかそうはできていないというのが現状で、そういった意味では、内容についてご意見をいただき、変更・修正が十分に可能ですので、大きな観点からご意見をいただければありがたいと考えております。 例えば、公共交通を例に挙げますと、デマンドの範囲について、公共交通のないところを旧町内で利用ということになっており、市民の皆様からは旧町を越えての利用について要望をいただいておりますが、なかなか難しいところであります。皆様からいただいたご意見をそのまま修正ということになるかどうかは分かりませんが、各方面から忌憚のないご意見、活発なご意見を頂戴したいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いします。
事務局	～配布資料の確認～ 以降の司会進行は中川会長よりお願いいたします。
会長	改めましてこんばんは。市民アンケート調査結果報告書が報告事項としてあります。このことについて、事務局からお願いします。
会長	3 報告事項 (1) 市民アンケート調査結果報告書について このことについて、委員の皆さんご意見ありますか。（意見がないようですので）、続いて協議事項について事務局より説明をお願いします。
事務局	4 協議事項 (1) 後期基本計画の施策体系について 【協議資料1】について、施策体系を一部修正等行なった経緯を事務局から説明。各施策の新設、統合、修正については、【協議資料1】のとおり。
会長	施策体系を少し見直したいという説明でした。ご質問もあるかと思いますが、ま

	ちづくりの目標と各施策の取組(案)について説明をいただいた後、まとめて質問を受け付けたいと思いますので続いて説明をお願いします。
事務局	(2) 後期基本計画の施策体系に基づくまちづくりの目標と各施策の取組について 【協議資料2】、【協議資料3】について、まちづくりビジョンと後期基本計画の該当施策について整合した上で案を作成していることを事務局から説明。
会長	ご意見、ご質問はありますか。
委員	【協議資料2】のまちづくりの目標と各施策の取組における景観についてお聞きしたい。56 ページ、施策目標 2-7【景観】のところで、太陽光発電施設について、現状と課題で、「今後も周辺の景観に配慮した太陽光発電設備開発指導を行います」と書かれている。「今後も」ということは、「現在」もされているということか？具体的にどういう取組をされているのかをお聞きしたいのが1点と、もうひとつは、86 ページでは、「農業従事者の高齢化や後継者不足、鳥獣被害などが要因で耕作放棄地や不作付地が増加し、美しい田園風景に象徴される農業・農村の悪化が危惧されている」とある。美しい田園風景を損なうのは耕作放棄地だけでなく、太陽光発電の設置によるところもあるのではないかと。 また、66 ページでは、景観との調和を図りながら、太陽光などを推進と書いてある。市民アンケートでコメント欄に太陽光発電の批判的な意見が圧倒的であった中で、市はそれでも推進するという事について、太陽光発電を推進することが大事なものは分かるが、住民感情とはかけ離れているように思う。行政として、そこにどう寄り沿っていくのか、明確なものがあるのであれば、ここに明記すべきだと思う。
委員	33 ページの「よろずおせっかい相談所」の設置数について、まちづくり指標の現状値が 27 箇所であり、目標値が 54 箇所となっている。相談件数も現状値 30 件で 205 件の目標値。1 箇所あたりの相談件数が 1 件ほどで、相談所を 54 箇所に増やす手法として、社会福祉法人等をお願いされていることかと思うが、自治協議会にも相談されてこの目標になっていることと思う。自治協議会をお願いするにしても、おそらく今の状態では受け入れ難く、もっと具体性が必要だと思うので、そのあたりを考えてほしいと思う。
委員	施策目標 5-1【学校教育】、施策目標 5-2【生涯学習】について、まちづくりビジョンと第2次丹波市教育振興基本計画と整合性を図られていると思うが、施策目標 5-2 の施策の展開で書かれている内容は、教育振興基本計画における施策とは少し異なると思うので、まちづくり部と整合・整理いただきたい。
会長	3つの質問が出ました。それぞれについて事務局から回答をお願いします。
副市長	まず、太陽光発電に関する田園風景についてですが、ひとつは環境施策として、環境基本計画に明記してある太陽光発電の推進と、もうひとつは、太陽光発電が美しい田園風景を阻害しているので規制していこうという視点、この相反する2つがあります。太陽光発電を推進する一方で、市民のニーズに応じて規制していこうという動きもあり、市議会からは、太陽光発電の規制条例を策定したらどうかという提案もあったが、より規制効果の高い取組をしていくため、開発指導要綱を作成し、細かい規制をしているところです。規制について条例化した場合、太陽光発電を設

	置する際に、住民の同意書を得ることが難しい面があり、要綱ではそのことが可能であるため、実質的には要綱のほうが有効だと考えています。今後も規制をしていくという意味でここに記載されています。
事務局	「よろずおせっかい相談所」の設置については、具体性をもって取組んでいきたいと考えています。いただいた意見を参考にさせていただき、目標数値に対し具体性をもった取組について担当課に伝えていきます。 次に、社会教育について、H23 年度よりまちづくり部局が担当で進めてきました。社会教育が十分に機能しているのかどうか、様々なところからご意見があり、行政としても課題認識をしているところでもあります。教育振興基本計画と整合を図りながら教育部局と調整を図り、社会教育、生涯学習、地域づくりを一体に進めていくということをしっかり計画に書いていきたいと考えています。
会長	他にご意見等ありますか。
委員	私は丹波市に移住してきた身なので、94 ページ【移住・定住】のことについて聞きたい。移住に関して、ただ漠然と移住者を募集するのではなく、ある程度のテーマをもって移住してくる人たちを迎えるというほうがよい。ターゲットを絞ったらよいのではと思う。子育て世代の 30 代、40 代を移住のターゲットとするのか、丹波市を永住の場所とするような移住者をターゲットとするのか、あるいは、働きに来る人を移住者として呼び込みたいのか。
副市長	どのあたりのターゲットがよいとお考えでしょうか。
委員	移住ブームが下がってきていると思う。私の周りでは、仕事が落ち着いてから、もしくは、定年後に移住という人が多い。団塊ジュニアが移動しだす時期、おそらく 10 年以内と思うが、そのときに丹波市に呼び込めるような魅力があるか、その準備が出来ていたほうがよいと思う。
会長	情報収集ということだと思う。どういう層がどういうニーズをもっているのか。有効な情報収集に基づく有効な情報発信をこの計画に書き込めるのか、事務局から担当部局の住まいづくり課に聞いてもらう。書き加えてよいのか判断するのは担当部局が判断すべきことである。政策レベルの話であり、書き込めるかどうかは不明だが、この意見は伝えてもらう。新鮮な意見であり、どういう層にニーズがあるのか、マーケティング調査の必要はあると思う。
委員	48 ページの【道路・河川】について、現状と課題で、「河川は、過去の洪水被害履歴などを調査し」とあり、施策の展開で、計画的な河川整備欄に「地域総合治水推進計画」という記載されている。本当にこれだけで治水対策ができるのか、もう少し具体的に書き込む必要があるのではないかと思う。特に内水対策という面では、県と市の役割分担はあるだろうが、今後どのように内水対策に取り組んでいくのか、もう少し具体的に書き込まないと住民からの問い合わせに対応できないと思う。
副市長	内水対策の住民関心は高く、市内部でも長期的な内水対策の計画策定について、議論しているところでもあります。そのことを総合計画に書き込むべきか、内部で検

	討中なので、財政部局、建設部局と協議をして判断したいと思います。
会長	ほかに質問がなければ、次は総合計画の序論に進みます。
	(3) 序論の構成及び概要について
事務局	事務局から【協議資料4】を説明。 会長から【協議資料4】について補足説明。
会長	協議事項について、全体的な意見を頂戴したい。発言のない委員のなかで、意見があればどうぞ。
委員	58 ページ【防災】について、私は阪神淡路大震災当時、神戸にいたが、当時は「自助、共助、公助」という言葉はなかった。一番大事なのは「自助」で、次に「共助」である。「公助」は全く役に立たなかった。丹波市においても、「自助」は当然のことで、一番力をいれるべきは「共助」で、この部分を強く表現してほしい。59 ページの施策の展開で、防災・減災に向けた体制づくりとして、「自助・公助・共助」と書かれている。一番大事なはずの「共助」が粗末な扱いになっているように思う。「共助」は自治会や職場等での共助があり、もっと強調してほしい。
会長	58 ページでは、「自助、共助、公助」の順番となっているので、それに合わせたらいと思う。記載ミスだと思う。役割分担の欄で、「自助・共助・公助」の項目があってもよいかもしれない。記述を修正してください。 ほかに意見なければ、次の内容に移ります。新市建設計画の変更にかかる諮問について説明をお願いします。
	5 その他 (1) 新市建設計画の変更にかかる諮問について
事務局	様々なご意見ありがとうございます。参考にさせて頂き、修正していきたいと考えています。頂いたご意見の中で、「よろずおせっかい相談所」や「共助」の書き方は他の施策にも影響してきます。そのあたりを含め、修正させていただきたいと思っています。 新市建設計画については、資料として諮問書を配布させていただいており、有利な財源である合併特例債を利用するにあたって、新市建設計画についても変更する必要があります。法改正により、合併特例債が再延長可能となり、財政計画についてのみ変更となります。本日は諮問のみとさせていただき、次回に新旧対照表を添えて説明させていただきます。
会長	これについては、制度的なことである。法改正に伴う手続きであり、新市建設計画変更にあたって、この総合計画審議会に諮問するというのが規定されているので、協議事項となっている。これについては、合併特例債は非常に有利なものであるということは皆さんも知っておられると思う。次回に答申ということで、手続きは事務局にお任せします。これについては異論がないということで、承認を前提とします。 以上で本日の議論すべきことは終わりましたが、ご発言のなかった委員を中心に

	ご意見はありますか。
委員	90 ページの【観光】について、現状と課題で、「宿泊をしない」、「食事をするところがない」、「土産物を買わない」など観光関連の消費活動が低調であると記載されているが、まちづくり指標では来訪者の満足度が 80% の目標値となっている。それはおばあちゃんの里が道の駅になることなど見据えてのことなのか。
会長	あくまで目標値であり、5% 上げようということ。
委員	わかりました。次に、観光推進組織 (DMO) によって、観光を基幹産業化することだと思うが、何をもって儲ける仕組みをつくるのか、他の団体との構造についての言及や、そのあたりの記載があってもよいのではと思った。
委員	目指すべきまちづくりに向けて取組んでいかなければならないと改めて感じている。その中で 84 ページ【商工業】の商店街について、人材不足に伴う外国人労働者の受け入れについて、市内でも増えてきている。小売店の数が減ることで、生活利便施設だけでなく、コミュニケーションの場が失われつつあるというのが喫緊の課題であるように思う。市内でも小売店の数が減少している。それぞれの小売店が努力すべきところはあるが、それだけではなく、市民の消費者意識をどのように高めていくのか考えていく必要があると感じた。行政とも相談しながら取組んでいく必要があると思う。
会長	81 ページの多文化共生のまちづくりだけでは不十分か。担当部局と相談して、「外国人労働者の増加に伴い」など付け加えたほうがよいか確認してください。
委員	外国人労働者の相談窓口が一本化されていないことで、外国人労働者も不満があるようだ。そのあたりについて勘案すべきだと思う。
会長	持ち帰り課題としましょう。引き続き、順番にどうぞ。
委員	90 ページの【観光】のところでは、広く観光客を受けいれるといい、85 ページの施策展開における商業の活性化では、市の玄関口として、柏原駅周辺で賑わいと活力を創出するとある。観光の玄関口として、来丹者の交通手段が電車であるのなら、玄関口は柏原駅になるのかもしれないが、車で来られる方もおり、そうなれば玄関口は変わる。自動車で来られるなら、IC(春日・青垣・氷上)周辺が玄関口となり、そのあたりの賑わいを創出したほうがよいということになる。鐘ヶ坂を通過して丹波市に来られる場合もあり、玄関口について、整理をしたほうがよいのではないかと思う。実際には車での来丹が多いのではと思う。
会長	書き方の問題でもあるし、他に「玄関」があるのに書き漏れがないかという指摘でもある。事務局は検討してください。
委員	38 ページの【子育て支援】について、子育て学習支援センターの利用者数を増やすということだが、子育て学習支援センターが出来た経緯として、子どもの教育というよりは、親への教育という観点で設置されたように聞いた。その辺の経緯を示したら、違った視点で利用者数の問題が見えてくるのではないかと思う。

会長	38 ページについて、書き方を修正できる余地があるなら検討してください。
委員	「大納言小豆」という言葉が各施策で出てくる。環境、景観、観光、複数の部署にまたがっているが、いまひとつ、つながりが見えてこない。それが見える形になればよいと思う。
委員	委員が言われたことについて、丹波三宝に関して、丹波三宝推進協議会があるが、推進協議会の重要性がいまひとつ果たされているのか疑問がある。丹波三宝をPRするイベントだけの分野に集中してしまっている。大きな括りの中の組織として位置づけをして、行政がサポートしていく体制をとらないと、丹波三宝推進協議会に任せっぱなしになってしまっている。
委員	どういう書きかたがよいのかは分からないが、今の書きぶりではあまりに縦割りに感じる。担当課から出てきた施策だとは思いますが、それぞれの施策をつなげていく必要があると思う。
副市長	丹波市としては、大納言小豆はブランド力が最も高く、農業産業としての小豆、シティプロモーションとしての小豆、観光資源としての小豆、儲かる農業として移住者に担っていただく小豆など、各部局が様々な分野・視点で小豆をとらえている。部局横断としての小豆のつながりが施策上見えてこないということであれば、見えるような表現・書きぶりにしていきたいと思います。
事務局	小豆だけでなく、それは他にも同様のことが言える。施策ひとつ例にしても、子育てから見るのか、医療から見るのか、健康から見るのか、福祉から見るのかで違ってきます。どの施策も複合的な意味合いを持っているが、できるだけ、縦割りに見えない、各部局が相互に連携して関わっているということがわかるような書きぶりにしたいと思います。
委員	生涯学習が市長部局に移管されたと聞いている。丹波市は社会教育が生涯学習の概念に移行しているのか。社会教育は教育部局とのことだが、社会教育機能と生涯学習機能との関連はどのように理解したらよいか。
副市長	そこについては難しいと感じている。市長部局に生涯学習審議会があり、生涯学習の新しい計画を審議しているところである。社会教育、生涯教育、生涯学習において、市長部局にあることと教育部局にわかれていることの弊害について協議しているところで、市長部局と教育部局とで話し合い、その成果をお示ししたいと考えています。
委員	5-2【生涯学習】に図書館がある限りは社会教育である。教育振興基本計画との関連など検討を深める余地はあると思う。
副市長	市民からの意見として、公民館がなくなり住民センターに変わったことで、生涯学習機能・社会教育が低下したのではないかという意見もある。市民自身が学習を提供するというような形に変わってきている中で、このことについて十分に検討していきたいと思います。

委員	部署の関係もあるが、教育振興基本計画と整理・突合していく必要があると思う。
会長	書き直せということではなく、考え方を整理してほしい。予定の時間が過ぎましたので事務局お願いします。
事務局	(2) 第4回審議会日程及び今後の予定について 次回の審議会の予定について連絡します。 今後の予定としましては、8月27日に原案を確定させ、市議会の常任委員会に報告後、パブリックコメントを実施したいと考えております。パブリックコメント後の第5回審議会は11月12日19時からと考えておりますので、ご予定の程、よろしくをお願いします。 [第4回審議会] 日時 令和元年8月27日(火) 19:00～ 場所 氷上住民センター 大会議室 [今後の予定] 令和元年9月 市議会総務文教常任委員会に後期基本計画案を報告 令和元年10月 後期基本計画案についてパブリックコメントを募集 令和元年11月 第5回審議会及び答申 令和元年12月 市議会に議案を提案 本日は長時間にわたり活発なご意見を賜り、ありがとうございました。 閉会の挨拶を大野副会長、お願いいたします。
副会長	6 閉会 長時間にわたり、ご意見をいただきありがとうございました。次回は8月27日(金)です。追加でご意見等あれば、7月末までに丹波市総合政策課まで連絡するようお願いします。本日はありがとうございました。